

令和7年度 流山市在宅医療介護連携推進事業計画（案）

4つの 場面	中期 目標	対象	令和7年度計画（案）
共通	資源	本人・家族	GISを活用した介護保険事業者情報を更新する。
		本人・家族	在宅医療に関する医療機関情報をGISで掲載し、定期的に更新する。
		本人・家族	医療情報については「医療情報ネット（ナビイ）」を案内する。
		本人・家族 専門職	在宅療養に関する情報に気軽にアクセスでき、見やすいホームページを目指し、随時更新する。
		専門職	ハラスメント防止啓発のリーフレットを作成し、使用実態アンケートを実施。（R7. 2月末） アンケートの結果を踏まえ、使いやすいリーフレットを目指し、内容の見直しや改訂を検討する。
		専門職	在宅療養支援診療所の実態把握調査を踏まえ作成した在宅医療提供医療機関パンフレットを病院関係者やケアマネ ジャーが活用し、患者紹介に役立てていただく。また、医療機関間の連携においても役立てていただく。
	情報 共有	専門職	多職種間での情報共有を円滑にするため、情報共有システムの活用を促進する。 たとえば、介護と医療をつむぐ会、看取り症例検討会などで情報共有システムについて周知するなど
		専門職	事業所BCPIに基づいた災害時の情報共有とし、市内全介護保険事業所にID付与を契機に情報共有システム利用者につ なげる。
		専門職	情報共有システムの機能拡充：居宅・サービス事業所連携機能（ケアプランデータ連携）の導入にむけ介護サービス 事業所向けの研修会を開催する。
		専門職	デモ機を用いて操作する体験会や実際の活用事例紹介などの内容で情報共有システム研修会を開催する。
		専門職	情報共有システムマニュアルの改訂を行い、手続きの簡略化を図り、利用促進につなげる。
	多職種連携	専門職	在宅・病院・施設・消防の関係者が互いの専門性や支援の視点、認識など職域理解を促進する。
日常の 療養支援	多職種連携	専門職	介護と医療をつむぐ会を年4回開催する（4つの場面に沿ったテーマで開催する） 第1回 未定 第2回（市民公開講座と合同開催） 第3回 未定 第4回 未定
			介護と医療をつむぐ会の開催内容を情報共有システムやホームページに掲載し、参加できない専門職に情報を発信す る。
			介護と医療をつむぐ会において、病院関係者や新規開設した事業所等の新規参加者が増え、会の参加者が拡大するな ど、会の活性化を図る。
			在宅医療介護連携会議と介護と医療をつむぐ会の間で双方向のやり取りをすることで、PDCAサイクルが循環し、計画 と現場の医療・介護関係者の課題認識の乖離を減らし、現場の声を反映した取り組みにつなげる。
	市民 啓発	本人 家族	市民公開講座の開催（第2回介護と医療をつむぐ会と合同開催） 日時： 令和7年10月4日 11日 25日のいずれか（土曜日） テーマ： 未定 開催内容：中期目標①市民啓発 ②人生会議（ACP）推進のための内容 開催方法：参集型・オンデマンド配信（内容などによって決定） 周知方法：若い世代の集客を図るには、情報にアクセスしやすいようLINE、メール、QRコードなどを活用する。
			おうち療養情報紙の発行：市民公開講座の開催内容や人生会議に関する内容を掲載予定。
			市民の依頼に基づいて、人生会議をテーマとした内容で出前講座を開催する。
	市民 啓発 人生会議推進	本人 家族 専門職	幅広い世代の市民に対し、情報発信の方法を検討する。 （ホームページやオンデマンド配信などを活用し、人生会議の周知を図るなど）
	その他	専門職	対応に苦慮する困難ケースなど在宅医療・介護連携に関する相談窓口が介護支援課であることの周知を図る。
	多職種連携	専門職	困難ケースの支援について、多職種で事例検討をする機会を設ける。
	その他	専門職	認知症初期集中支援チームで支援を行い、支援を行ったケースについて振り返るため、年1回認知症初期集中支援 チーム検討部会を開催する。
入退院支 援	情報 共有	専門職	「流山版千葉県地域生活連携シート」のアンケート結果を受け、様式の改訂や今後の運用など検討する。
	多職種連携	専門職	病院相談員連絡会に参加し、入退院支援の実態把握や連携に関する課題の抽出を行い、連携促進につなげる。（3回 /年）
急変時の 対応	市民 啓発	専門職	本人・家族・在宅関係者間で急変時の対応に関する取り決めを行うことを推進する。
	情報 共有	専門職	救急情報カードの定期更新の呼びかけと定位置への保管について推進する。
	多職種連携	本人・家族	市民公開講座、出前講座、おうち療養情報紙等で人生会議（ACP）の普及啓発を図る。
看取り	多職種連携	専門職	本人・家族が今後の看取りの経過や支援などについて共有できるように、医療・介護関係者向けに人生会議実践の対 応力の向上のための研修会や、事例検討を開催する。
		専門職	高齢者住まい看取りケア研修会の開催し、看取りに対する職員の不安軽減につなげる。（1回/年）
		専門職	在宅療養・看取り推進のための症例検討会の開催により、圏域ごとのチーム作りを推進する。（4回/年）